

秋の叙勲

おめでとうございます

瑞宝中綬章

元島根医科大学学長
学校法人仁多学園理事長
島根リハビリテーション学院長
下山 誠氏



下山先生には、平成十年の島根リハビリテーション学院開校以来、学院の運営に大変お世話になっており、平成十五年に理事長、平成十六年には学院長にご就任いただき、学院の体制強化と医療技術を志す人材の育成はもとより、本町の医療福祉の発展にご尽力いただいております。

先生は、長年島根医科大学医学部教授として、また平成六年から同大学副学長、更に平成十二年四月から平成十五年九月まで同大学学長として、医学の振興発展に大きく貢献され、こうした功績により、この度叙勲の榮に浴されました。

瑞宝小綬章

元公立高等学校校長
千葉 哲雄氏(亀嵩)



千葉さんは、昭和二十八年に横田高等学校教諭として着任され、以来三十八年の永きにわたり高等学校教諭また教頭、県立大東高等学校校長などの要職を歴任され、学校教育の振興発展、学校施設の充実に尽瘁されました。

特に、在職中は国語教育の向上や軟式庭球部の顧問として、全国大会へ出場するなど多大な貢献をされました。

また退職後は、平成八年から九年間、人権擁護員として、町民の人権思想高揚、啓発活動に尽力されました。

瑞宝単光章

元奥出雲町消防団長
影山 豊幸氏(上阿井)



影山さんは、昭和四十年に旧仁多町消防団に入団し、平成二年に阿井分団長、平成十二年に副団長、平成十五年に団長、平成十七年三月には、初代奥出雲町消防団長に就任され、四十二年余の永きにわたり地域消防の発展に尽瘁されました。

その間、強い責任感と豊富な知識をもって団員の指導等に務められ、特に島根県消防操法大会では、副団長に就任後、優勝二回、準優勝一回をはじめ入賞三回の榮に輝くなど消防団の発展・強化に多大の貢献をされました。

島根県功労者表彰受賞

横田高校男子ホッケー部

島根県の名声を高め、県民に感動と勇気を与えた個人・団体に贈られる島根県功労者表彰の受賞式が、十月二十九日、島根県庁であり、国体二連覇、高校ホッケー史上十四年ぶり三校目となる三冠の偉業を達成した横田高校男子ホッケー部に、溝口県知事から賞状と記念品が贈られました。

同表彰は、平成九年に始まり、これまでプロ野球で活躍した梨田昌孝さん、大野豊さん、江の川高校野球部など十個人・団体が受賞しています。

将は「日本を代表する人たちと一緒に名前を刻むことができ、光榮に思う。全国大会六連覇を目指してこれからも練習に励みたい」と話してくれました。

また、十一月七日には、恩田賢二監督に、その功績を称え



第八回全国障害者スポーツ大会

伊藤 純きん(小馬木)が金メダル獲得



国内最大の障害者スポーツの祭典「第八回全国障害者スポーツ大会」が十月十

一日から十三日まで大分県で開催され、島根県代表としてボウリングの部に出場した伊藤純きんさんが、見事金メダルを獲得されました。

試合は、二日間で四ゲーム行い、そのトータルスコアで競われました。

横田中学校ランチルーム 全校での給食がスタート



平成十八年度から進められていた、横田中学校大規模改修工事が体育館を残して整備が終わり、新らしくできたランチルームで十月二十一日、全校生徒が一堂に会しての給食がスタートしました。

四時間目の授業が終わると、一年生から三年生までの全校生徒二百二十人が次々とランチルームに集まり、給食当番

からの配膳により、学級ごとに着席。始めは緊張した様子でしたが、次第に会話も弾み、楽しい給食となりました。

生徒からは「クラス以外の人と食えることができ、給食の時間が楽しく過ごせるようになった」、「他人への気遣いや準備、片付けが手際よくできるようになった」など感想がありました。

秋の奥出雲を自転車で走る

奥出雲サイクリング

「奥出雲サイクリング」が、同サイクリング実行委員会(奥出雲町商工会青年部)の主催で十月二十六日、盛大に開催され、県内外から約四百人(一番遠方は富山県)が参加しました。

今年は、三成公園野球場を発着点に、鬼の舌震や絲原記念館などを巡る約三十



五キロのファミリーコースと平成二十二年度に完成する尾原ダムサイクリングコースの一部を通るエキスパートコース(約五十五キロ)の二コースで行われました。

あいにくの雨の中、参加者は思い思いのペリスでペダルをこぎ、紅葉に色づき始めた奥出雲の自然を満喫しながらサイクリングを楽しみました。

各チェックポイントでは、用意された催しやゴール後は仁多米のビックリおにぎりと仁多牛の焼肉が振る舞われ、参加者は心ゆくまで楽しんでいました。



あたたかい豚汁のサービス



仁多米のおにぎりは最高!!



親子で力走